



2023年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社テー・オー・ダブリュー
コード番号 4767 URL https://tow.co.jp/

代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村津 憲一

問合せ先責任者(役職名) 取締役兼執行役員管理本部長 (氏名) 舛森 丈人 (TEL) 03-5777-1888

四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 2023年3月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年6月期第2四半期の連結業績(2022年7月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|-------|-------|------|-------|------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年6月期第2四半期 | 6,392 | △6.3 | 663 | △13.7 | 677 | △14.3 | 17 | △96.7 |
| 2022年6月期第2四半期 | 6,820 | △13.9 | 769 | 81.4 | 790 | 76.8 | 523 | 73.7 |

(注) 包括利益 2023年6月期第2四半期 △70百万円(-%) 2022年6月期第2四半期 414百万円(△20.8%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 | |
|---------------|-----------------|----|----------------------------|----|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 2023年6月期第2四半期 | 0 | 41 | 0 | 41 |
| 2022年6月期第2四半期 | 11 | 62 | 11 | 55 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | | 1株当たり純資産 | |
|---------------|--------|------|--------|------|--------|----|----------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 2023年6月期第2四半期 | 12,059 | 70.6 | 8,530 | 70.6 | 211 | 28 | 211 | 28 |
| 2022年6月期 | 13,764 | 76.4 | 10,544 | 76.4 | 231 | 21 | 231 | 21 |

(参考) 自己資本 2023年6月期第2四半期 8,508百万円 2022年6月期 10,513百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|------|-------|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 |
| 2022年6月期 | — | 7.00 | — | 7.00 | 14.00 | — |
| 2023年6月期 | — | 7.20 | — | — | — | — |
| 2023年6月期(予想) | — | — | — | 7.20 | 14.40 | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日~2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 | |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-----------------|-------|----------------|----|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 | 銭 |
| 通期 | 12,000 | 7.8 | 1,076 | 21.8 | 1,100 | 19.0 | 289 | △51.6 | 7 | 01 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(2023年2月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2023年6月期2Q | 48,969,096株 | 2022年6月期 | 48,969,096株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年6月期2Q | 8,696,752株 | 2022年6月期 | 3,496,752株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2023年6月期2Q | 42,380,714株 | 2022年6月期2Q | 45,076,694株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績の予想につきましては、現時点で入手可能な情報を基に作成しており、実際の業績は、今後、様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 9 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (会計方針の変更) | 10 |
| (追加情報) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和され社会経済活動は緩やかな回復を遂げている一方で、世界的な金融面、地政学面、供給面での変動影響を大きく受け、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く事業環境についても、資源価格の高騰、世界的なインフレや金融引き締めによる景気減速の影響もあり、広告市場全般の動きとしては力強さを欠くなか、2022年7月から8月にかけての第7波の収束以降、行動意識の変化や人流回復により、リアルイベント回帰の動きが見られました。オンラインプロモーション領域においては、デジタル広告市場の伸長等を背景に、堅調な伸びを示しました。

このような事業環境の中、当社グループはイベント領域及びオンライン領域ともに、当社グループが主軸とする体験価値をコアとした事業展開を推進してまいりました。

当社グループの事業は単一セグメントであります。当社グループの業務を「リアルイベント」「オンラインイベント」「オンラインプロモーション」及び「その他」と分類しております。

当第2四半期連結累計期間におけるカテゴリーごとの売上高は次のとおりであります。

①リアルイベント

新型コロナウイルス感染症の第7波の影響もありましたが、人流回復や生活行動の変化に伴い、街頭プロモーションや飲食を伴うイベントの回復もあり増加いたしました。

その結果、売上高は34億54百万円（前年同期比41.5%増）となりました。

②オンラインイベント

オンラインイベントからリアルイベントへの転換に加え、前年同期に実施した大型イベントが減少したことにより、売上高は7億14百万円（前年同期比69.2%減）となりました。

③オンラインプロモーション

SNS・動画活用プロモーション・デジタル広告等の各種オンラインプロモーション施策の引き合いが堅調に増加したことにより、売上高は20億60百万円（前年同期比4.5%増）となりました。

④その他

官公庁・団体からの案件を受注したことにより、売上高は1億63百万円（前年同期比86.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益については、東京2020オリンピック・パラリンピック案件の反動影響等により、前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は63億92百万円（前年同期比6.3%減）、営業利益は6億63百万円（同13.7%減）、経常利益は6億77百万円（同14.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17百万円（同96.7%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における連結業績予想に対しては、「専門性の高い人材の提供価値のマネタイズ」「発注の適正化による収益の確保」「販売費及び一般管理費の抑制等の費用コントロール」を引き続き推進した結果、連結業績予想を上回りました。親会社株主に帰属する四半期純利益については、経常利益が連結業績予想を上回ったことに加え、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性が見込まれる部分について繰延税金資産を計上したことにより、連結業績予想を上回りました。

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------------------------------|------------------------|--------------------|--------------------|--------------------------|------------------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 5,824 ～6,344 | 百万円 491 ～585 | 百万円 502 ～597 | 百万円 △309 ～△223 | 円 銭 △6.81 ～△4.92 |
| 今回発表実績 (B) | 6,392 | 663 | 677 | 17 | 0.41 |
| 増減額 (B - A) | 568 ～48 | 172 ～78 | 174 ～80 | 327 ～241 | — |
| 増減率 (%) | 9.8 ～0.8 | 35.2 ～13.4 | 34.8 ～13.4 | — | — |
| (ご参考) 前期第2四半期実績 (2022年6月期第2四半期) | 6,820 | 769 | 790 | 523 | 11.62 |

(2) 財政状態に関する説明

(1) 財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、自己株式の取得等を行ったことから、前連結会計年度末に比べ17億4百万円減少し、120億59百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ13億50百万円減少の101億86百万円となりました。これは主に、受取手形、売掛金及び契約資産が11億1百万円、未収入金が2億29百万円、電子記録債権が1億45百万円増加しましたが、現金及び預金が28億4百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3億54百万円減少の18億72百万円となりました。

固定資産のうち有形固定資産は、前連結会計年度末に比べ15百万円減少の1億76百万円となりました。これは主に、減価償却等によるものであります。

無形固定資産は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少の25百万円となりました。これは主に、減価償却等によるものであります。

投資その他の資産は、前連結会計年度末に比べ3億34百万円減少の16億70百万円となりました。これは主に、保険積立金が1億94百万円、投資有価証券が1億26百万円減少したこと等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億75百万円増加の31億74百万円となりました。これは主に、未払法人税等が1億82百万円減少しましたが、買掛金が7億77百万円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ2億65百万円減少の3億54百万円となりました。これは主に、役員退職慰勞引当金が1億73百万円、繰延税金負債が1億1百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ20億14百万円減少の85億30百万円となりました。これは主に、自己株式の取得等により16億26百万円、利益剰余金が3億円、その他有価証券評価差額金が87百万円減少したこと等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて28億4百万円減少し、57億86百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は9億98百万円(前年同四半期は2億11百万円の獲得)となりました。これは主に、特別功労金の支払額が6億47百万円、法人税等の支払額が3億22百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は2億6百万円(前年同四半期は39百万円の使用)となりました。これは主に、保険積立金の解約による収入が2億19百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は20億12百万円(前年同四半期は2億44百万円の使用)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出が16億94百万円、配当金の支払額が3億18百万円あったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(1) 今後の見通し

2023年6月期通期連結業績予想につきまして、事業を取り巻く環境に不透明な状況が続いているものの、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和されたことから、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき通期連結業績予想を修正いたしました。

2023年6月期通期連結業績につきましては下記のとおり見込んでおります。

売上高：120億円(前年同期比7.8%増)

営業利益：10億76百万円(同21.8%増)

経常利益：11億円(同19.0%増)

親会社株主に帰属する当期純利益：2億89百万円(同51.6%減)

今後、状況の変化により必要な場合には、あらためて業績予想の変更を検討し公表いたします。

(2) 配当について

当社の配当方針は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつと認識しており、安定した配当を継続して実施していくことを基本としております。

配当金につきましては1株につき中間配当金7円20銭、期末配当金を7円20銭、通期で14円40銭を予定しており、2022年8月9日の公表から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,590,452 | 5,786,451 |
| 電子記録債権 | 196,723 | 341,894 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 1,936,232 | 3,037,322 |
| 未成業務支出金 | 131,409 | 77,042 |
| 未収入金 | 528,399 | 757,480 |
| 前払費用 | 97,936 | 148,842 |
| その他 | 56,475 | 37,952 |
| 流動資産合計 | 11,537,630 | 10,186,986 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 196,279 | 196,279 |
| 減価償却累計額 | △75,559 | △81,505 |
| 建物(純額) | 120,720 | 114,774 |
| 工具、器具及び備品 | 253,704 | 244,858 |
| 減価償却累計額 | △188,763 | △189,532 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 64,940 | 55,326 |
| リース資産 | 3,826 | 3,826 |
| 減価償却累計額 | △2,997 | △3,380 |
| リース資産(純額) | 829 | 446 |
| 土地 | 6,027 | 6,027 |
| 有形固定資産合計 | 192,517 | 176,575 |
| 無形固定資産 | 28,979 | 25,640 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 1,527,399 | 1,401,191 |
| 保険積立金 | 226,893 | 32,311 |
| 繰延税金資産 | 40,118 | 25,790 |
| 敷金及び保証金 | 197,522 | 198,229 |
| その他 | 13,319 | 12,896 |
| 投資その他の資産合計 | 2,005,252 | 1,670,419 |
| 固定資産合計 | 2,226,750 | 1,872,634 |
| 資産合計 | 13,764,380 | 12,059,621 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年6月30日) | 当第2四半期連結会計期間 (2022年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 電子記録債務 | 6,113 | 13,943 |
| 買掛金 | 1,081,852 | 1,859,034 |
| 短期借入金 | 840,000 | 840,000 |
| 未払法人税等 | 267,479 | 84,868 |
| 賞与引当金 | 24,975 | 35,351 |
| 役員賞与引当金 | — | 9,549 |
| その他 | 378,478 | 331,910 |
| 流動負債合計 | 2,598,899 | 3,174,658 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 253,783 | 263,376 |
| 役員退職慰労引当金 | 200,520 | 26,840 |
| 繰延税金負債 | 150,617 | 48,790 |
| その他 | 15,937 | 15,868 |
| 固定負債合計 | 620,858 | 354,875 |
| 負債合計 | 3,219,758 | 3,529,534 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 948,994 | 948,994 |
| 資本剰余金 | 1,219,172 | 1,228,732 |
| 利益剰余金 | 7,900,326 | 7,599,569 |
| 自己株式 | △330,726 | △1,957,226 |
| 株主資本合計 | 9,737,767 | 7,820,070 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 822,648 | 735,085 |
| 土地再評価差額金 | △46,614 | △46,614 |
| その他の包括利益累計額合計 | 776,034 | 688,471 |
| 新株予約権 | 30,820 | 21,544 |
| 純資産合計 | 10,544,622 | 8,530,086 |
| 負債純資産合計 | 13,764,380 | 12,059,621 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 6,820,679 | 6,392,568 |
| 売上原価 | 5,611,866 | 5,317,428 |
| 売上総利益 | 1,208,812 | 1,075,140 |
| 販売費及び一般管理費 | 439,791 | 411,161 |
| 営業利益 | 769,021 | 663,978 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 58 | 0 |
| 受取配当金 | 21,455 | 14,601 |
| 助成金収入 | 1,135 | — |
| 雑収入 | 2,300 | 934 |
| 営業外収益合計 | 24,949 | 15,535 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,275 | 1,266 |
| 売上債権売却損 | 1,069 | 50 |
| 雑損失 | 641 | 349 |
| 営業外費用合計 | 2,987 | 1,666 |
| 経常利益 | 790,984 | 677,847 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 69 |
| 保険解約返戻金 | — | 24,825 |
| 特別利益合計 | — | 24,894 |
| 特別損失 | | |
| 特別功労金 | — | 647,200 |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| リース解約損 | 593 | — |
| 特別損失合計 | 593 | 647,200 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 790,390 | 55,541 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 272,773 | 86,846 |
| 法人税等調整額 | △6,310 | △48,853 |
| 法人税等合計 | 266,462 | 37,992 |
| 四半期純利益 | 523,928 | 17,549 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 523,928 | 17,549 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2021年7月1日 至 2021年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2022年7月1日 至 2022年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 523,928 | 17,549 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △109,549 | △87,562 |
| その他の包括利益合計 | △109,549 | △87,562 |
| 四半期包括利益 | 414,379 | △70,013 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 414,379 | △70,013 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2021年7月1日 至2021年12月31日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2022年7月1日 至2022年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 790,390 | 55,541 |
| 減価償却費 | 29,130 | 25,343 |
| 株式報酬費用 | 5,526 | 11,722 |
| 保険解約返戻金 | — | △24,825 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 2,487 | 10,375 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | 25,103 | 9,549 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 6,389 | 9,593 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | 3,490 | △173,680 |
| 受取利息及び受取配当金 | △21,514 | △14,601 |
| 支払利息 | 1,275 | 1,266 |
| 助成金収入 | △1,135 | — |
| 固定資産売却益 | — | △69 |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 |
| 特別功労金 | — | 647,200 |
| リース解約損 | 593 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △983,037 | △1,246,260 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | △328,543 | △173,314 |
| 棚卸資産の増減額(△は増加) | △21,082 | 54,370 |
| その他の流動資産の増減額(△は増加) | 17,138 | 23,656 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 397,363 | 785,012 |
| その他の流動負債の増減額(△は減少) | 88,232 | △43,289 |
| その他 | 368 | 422 |
| 小計 | 12,178 | △41,985 |
| 利息及び配当金の受取額 | 19,924 | 14,601 |
| 利息の支払額 | △1,268 | △1,259 |
| 助成金の受取額 | 1,135 | — |
| 特別功労金の支払額 | — | △647,200 |
| 法人税等の支払額又は還付額(△は支払) | 179,859 | △322,308 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 211,827 | △998,151 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △14,157 | △1,879 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △1,986 | △8,842 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 188 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | — | △2,023 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 270 | — |
| 保険積立金の解約による収入 | — | 219,407 |
| その他の支出 | △23,978 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △39,851 | 206,850 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | — | △1,694,000 |
| ストックオプションの行使による収入 | 61,937 | 20 |
| リース債務の返済による支出 | △1,080 | △413 |
| 配当金の支払額 | △305,847 | △318,306 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △244,991 | △2,012,699 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △73,016 | △2,804,000 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,580,540 | 8,590,452 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,507,524 | 5,786,451 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2022年9月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式5,500,000株の取得を行いました。また、2022年10月14日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式220,000株の処分を行いました。

この結果、ストックオプションの行使による自己株式の処分を含め、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が16億26百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が19億57百万円となっております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはイベント・プロモーション企業として同一セグメントに属するイベント・プロモーションの「分析・調査」・「戦略立案・コンセプト策定」・「企画提案」・「実施制作」・「効果検証」並びにそれに付帯する業務を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。